

2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021 年 3月 31日
研究・研修課題名	がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師の資格更新および新規取得に係る必修研修会への参加
研究・研修組織名(所属)	島根大学医学部附属病院 薬剤部
研究・研修責任者名(所属)	長田 大河(薬剤部)
研究・研修実施者名(所属)	陶山 登之、渋江 理恵、長田 大河(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	陶山 登之、渋江 理恵、長田 大河(薬剤部)
学会名(会期・場所)、認定名等	日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師(渋江 理恵) 日本医療薬学会 がん専門薬剤師(陶山 登之)
演題名・認証交付元等	日本医療薬学会・日本病院薬剤師会
取得日・認定期間等	渋江 理恵(認定日:2018年10月1日、認定期間:2018年10月1日~2023年9月30日) 陶山 登之(認定日:2020年1月1日、認定期間:2020年1月1日~2024年12月31日)
診療報酬加算の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 加算有(がん患者指導管理料ハ、連携充実加算) <input type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

①目的

「がん専門薬剤師」および「がん薬物療法認定薬剤師」を、更新あるいは新規取得するには、日本医療薬学会と日本病院薬剤師会が共催する研修会(がん専門薬剤師集中教育講座)への参加が必須とされている。有資格者および、新たに認定取得を目指す者で分担して同研修会に参加し、知識や技能の研鑽ならびに、資格の維持や新規取得を目指すことで、当院におけるがん化学療法の安全性や有効性を高める。

②方法

令和2年度がん専門薬剤師集中教育講座へ参加することで、資格の更新や新規取得に必要な単位を取得する。加えて、院内や薬剤部内で研鑽内容を活用するほか、後進の育成を行う。

令和2年度がん専門薬剤師集中教育講座 web(オンデマンド配信:配信期間 令和3年1月12日~2月7日):陶山登之(資格更新のため)、渋江理恵(資格更新のため)、長田大河(資格取得のため)

③成果

令和2年度がん専門薬剤師集中教育講座へ参加することにより、資格の更新および新規取得に必要な単位を取得することができた。取得できる単位を下記に示す。

- ・日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師認定申請の対象講習:6.25単位・12.5時間
- ・日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師の認定更新の対象講習:12単位
- ・日本医療薬学会各専門薬剤師制度認定申請の対象講習:15単位
- ・日本医療薬学会各専門薬剤師制度の認定更新の対象講習:15単位
- ・日病薬生涯研修認定申請の対象講習:6単位

配信期間中に下記の内容について聴講した。

- ・がんの発生、転移、薬剤耐性
講師：国立がん研究センター研究所がん分化制御解析分野 分野長 岡本 司先生
- ・安全ながん薬物療法の実践
講師：国立研究開発法人日本医療研究開発機構 シーズ開発・研究基盤事業部 拠点研究事業課
主幹 野村 久祥先生
- ・抗がん剤の臨床薬理
講師：慶應義塾大学医学部 臨床薬理学 教授 谷川原 祐介先生
- ・がん薬物療法の臨床試験
講師：国立がん研究センター東病院薬剤部 副薬剤部長 米村 雅人先生
- ・悪性リンパ腫の薬物療法
講師：九州大学病院血液腫瘍内科 助教 森 康雄先生
- ・肺がんの薬物療法
講師：九州大学病院 呼吸器科 助教 岩間 映二先生
- ・乳がんの薬物療法
講師：九州大学病院 第一外科臨床・腫瘍外科（乳腺外科） 准教授 久保 真先生
- ・大腸がんの薬物療法
講師：九州大学病院 第二外科 消化器・総合外科 診療准教授 沖 英次先生
- ・皮膚がんの薬物療法
講師：九州大学病院 皮膚科学教室 講師 伊東 孝通先生
- ・胃がんの薬物療法
講師：済生会福岡総合病院 がん治療センター センター長兼外科部長 江見 泰徳先生
- ・白血病・多発性骨髄腫
講師：九州大学病院 血液腫瘍内科 助教 吉本 五一先生
- ・頭頸部がんの薬物療法
講師：公益財団法人がん研究会 有明病院総合腫瘍科 部長, 副院長 高橋 俊二先生
- ・肝臓、胆道、膵臓がんの薬物療法
講師：国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科 科長 奥坂 拓志先生
- ・支持療法
講師：国立がん研究センター中央病院薬剤部 主任薬剤師 渡部 大介先生
- ・緩和医療とがん疼痛治療
講師：日本医科大学多摩永山病院薬剤部 部長 高瀬 久光先生

がん専門薬剤師集中教育講座を受講し、既存の分子標的治療薬、殺細胞性抗がん剤や支持療法だけでなく最新の治療や新薬についてもさらに知識を得ることができ、がん薬物治療全体の理解が深まった。最後に近年話題である遺伝子分野についても目を向けていきたいと同時に論文やガイドラインなど最新の動向に注目し今後もがん薬物療法に貢献していきたい。